

(別紙)「宝塚市みどりの基本計画(案)」に対するパブリック・コメント手続きに基づく意見募集の結果一覧表

・意見の募集期間 令和3年(2021年)12月1日(水)～令和4年(2022年)1月7日(金)
 ・提出意見件数 28 件

※ ご意見ありがとうございます。

No.	項目	ページ	行	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けての見直し結果
1				計画ですから、夢や希望を盛るのは重要で、それも木目細かく、調査・分析・表現されていて、すばらしいと思います。 ただ、現状の問題点の掘り下げ、何故そうになっているのかの叙述が少ない。施策提案に現場関係者のヒアリング立脚しているのであればその旨伝えれば、読者の共感を得られるのでは、と感じました。	【原案のとおりとします】 本計画は、市のみどりの現状、市民意識調査結果、これらから導き出される課題を抽出し、その課題と上位計画でのまちづくりの方針を踏まえ、計画の方向性を整理するという構成にしています。問題点の掘り下げとして市のみどりの現状、市民意識調査といったデータを根拠として展開しています。	
2				「みどり」と「環境」は不可分であり、公園河川課と環境政策課の連携は必須である。各ボランティア団体が高齢化し、新規加入者が少ない現状を見ると、次の段階としては、どの活動地でも活動する団体を行政が組織するのが良いように考える。	【今後の参考とさせていただきます】 ご意見いただいたとおり、本計画は公園河川課だけで推進するのではなく、他課と共に推進していきます。また、ボランティア団体の高齢化や後継者不足は、協働のまちづくりを推進する上での大きな課題と考えています。この課題解消のため、行政自ら組織するのではなく、自主的な組織化が促されるよう、行政は有効な支援を行ってまいります。	
3				協働で管理(高齢者の力を借りる) 公園を利用する人を増やす。子ども中心だけでなく高齢者向け遊具の設置、芝生面積の拡大、ローメンテナンス花壇の公園の設置、ベンチ設置、地元住民との協働の推進、協議して運営を地元任せ。	【今後の参考とさせていただきます】 本計画では、下位計画として、公園の機能の再編や運営・管理方針を定める「(仮称)パークマネジメント計画」を策定することを記載しています。ご意見いただいた件につきましては、「(仮称)パークマネジメント計画」で具体的な対応を検討してまいります。	
4				瀬戸内海国立公園及び、神戸管林局の管理地等の市以外との協調が求められます。それは、生物多様性に関することは、市全域であるはずですね。特に里山はその価値が見直されるべきエリアです。それぞれに至るには、郷道の整備が伴って始めて、防災や避難救助の際に役立つ道ははずです。車社会となり、人がほとんど通行する機会が少なくなり、藪化した道を地域の有志の方々が最小限、歩行できるように努められている現実を直視していただき、遠方からの登山者の道間違い防止及び、災害防止に配慮した郷道イコール登山者の通行路への整備を定期的に保全についても基本的に加味してください。県との維持整備が必要な山陽自然歩道及び、近畿自然歩道並びに、長尾山系・丹波街道、近年県が進める各山城への遊歩道の整備、2・3年前の集中豪雨や台風で通行不能箇所が多くなっています。保全のシステム化を県及び国と検討してください。遠方からの来訪者にとって緊縮の財政には無関係のことです。	【原案のとおりとします】 本計画では、37ページから40ページの間で記載しているとおり、生物多様性の保全に向けては、生物の移動経路となるよう、ネットワーク化を図ることが重要であり、ネットワークを骨格、軸、拠点、身近なみどりの4つに分類し整理をしています。市全域でネットワーク化を図ることが重要である旨記載しています。 ご意見いただきました「郷道」の保全について、国や県にも伝え、適正な保全に努めてまいります。	
5	計画全般に関すること			古くから行政区画の第5・6地区の実態が違っています。平井山荘エリアは6地区エリアのはずである。	【計画に反映します】 本計画のブロック分けは、まちづくり協議会(地域ごとのまちづくり計画)を基に行っていますので、ご指摘のとおり、平井山荘エリアは第6ブロックに修正します。	計画案78,81ページ及び、概要書9,10ページの地域別みどりのネットワーク図において、平井山荘を第5ブロックから第6ブロックに移動しました。
6				櫻守の会でも会員数が高齢まで働けるように変化しているため、遊んでいる高齢者はいません。そのため、行政と地元の企業などで、郷道を整備していく必要があります。同様に、道標の表示も有志の方々が、自作で掲出されていますが、不心得者が破損や記念に持ち帰る方がいるため、堅固な表示を計画的に設置するように計画に盛り込んでください。	【原案のとおりとします】 本計画は、本市が目指すみどりの方向性を示したものであり、個別具体的なことを盛り込むものではないため、計画に記載することは困難です。 本市では、平成30年度より、「北雲雀きずきの森緑地」において遊歩道を整備し、令和2年度には市において桜の園に案内板の設置なども行っており、今後も必要に応じて整備していきます。	

No.	項目	ページ	行	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けての見直し結果
7				中山安倉線のイチョウは黄色になる前に切られて評判が悪い。	【今後の参考にさせていただきます】 今後の街路樹管理の参考とさせていただきます。	
8				気持ちのいい公園で散歩コースに入れている。一休みして花を眺めるのが楽しみ。ベンチをもっと置いてほしい。	【今後の参考にさせていただきます】 今後の公園整備の参考とさせていただきます。	
9				山、川、里と自然に恵まれた環境ながら生活と一体化しくつろげる場所はどこか。年をとり出掛ける足が無く地域の公園の充実をお願いしたい。	【今後の参考にさせていただきます】 今後の公園整備の参考とさせていただきます。	
10				北雲雀さずきの森で10年余り活動してきて思うことは、生物多様性を保全するには、知識が不十分であること。各活動地でアドバイスする専門家を行政が確保する、又は団体に義務付けることが必要。団体任せではなく、常に学習・研修の機会を提供し、より良い自然環境、まちづくりを目指す。	【今後の参考にさせていただきます】 本市では、生物多様性たからづか戦略に基づき、市民・事業者を対象に環境分野の専門家による講演会や観察会等を実施し、環境保全、生物多様性の保全の必要性や知識の周知を図っています。いただいたご意見を参考にして、今後も環境保全団体の皆様をはじめとした専門知識を持つ方々の協力を得ながら、環境保全を推進する体制づくりに努めてまいります。	
11	概要版	3		③「子どもの生きる力が育つまち」のみどり 花とみどりがあふれる公園・緑地で子どもたちが元気に走りまわり、まわりのベンチでその様子を見守る親が休憩している、とあるが親を保護者にしたほうがよい。	【計画に反映します】 「親」よりも定義が広い「保護者」に修正します。	花とみどりがあふれる公園・緑地で子どもたちが元気に走りまわり、まわりのベンチでその様子を見守る 保護者 が休憩している
12	はじめに	6		(2) みどりの効果 媒体効果・みんなのみどりを介した活動でまちが元気になる。 高齢化・少子化の光が丘を元気にするのに、みどりに関する取組を通して生まれる効果を大いに期待したい。具体的施策を住民とのワークショップで導き出した。	【今後の参考にさせていただきます】 本計画では、下位計画として、「(仮称)パークマネジメント計画」及び「(仮称)街路樹管理計画」を策定することとしており、計画を策定する際には、ワークショップの開催などにより、地域の声を十分に反映することとしています。	

No.	項目	ページ	行	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けての見直し結果
13	I はじめに	8		各主体の役割 ・主体は市民です。この認識をどうして育んで行くのか、最重要課題と思えます。これもワークショップを通して、と思えます。 ・各種団体を如何に啓もうしていくのか。具体的施策を提案・明示して。	【原案のとおりとします】 本計画では、下位計画として、「(仮称)パークマネジメント計画」及び「(仮称)街路樹管理計画」を策定することとしており、計画を策定する際には、まちづくり協議会や自治会等地域の団体などとのワークショップの開催などにより、各主体の役割を明確化することとしています。	
14	II 市のみどりの現状	21	1	2) 公園との関わりについて 「公園で特にやりたいことがないから」 市側の設置目的と市民感覚とのギャップにあることを示しています。やはりヒアリングするなりして、実態把握が肝要かと思えます。何故か、どうすれば埋められるか。	【今後の参考とさせていただきます】 本計画では、下位計画として、「(仮称)パークマネジメント計画」及び「(仮称)街路樹管理計画」を策定することとしており、計画を策定する際には、まちづくり協議会や自治会等地域の団体などとのワークショップの開催などにより、意見を反映していきたいと考えています。	
15	III みどりのまちづくりの考え方	26		「わたしの舞台はたからづか」 キャッチフレーズが一人歩きしている気がします。住民の「花とみどり」の部分に関してはそうかも知れませんが、軸足は100%宝塚と言いきれないのでは。 生活の糧を稼ぐ地が宝塚100%ではない。意識調査で所得の源の比率 宝塚/関西の他地域の比率を把握しているか。	【原案のとおりとします】 「わたしの舞台はたからづか」というスローガンは、本計画ではなく、第6次総合計画のスローガンです。本計画では、宝塚らしいみどりあふれるまちづくりを、あらゆる主体との協働でつくりあげていくことを基本理念とし、その基本理念のキャッチフレーズを、第6次総合計画のスローガンである、「わたしの舞台はたからづか」の「舞台」という部分を反映し、「みんなでつくる 花とみどりの夢舞台」としました。	

No.	項目	ページ	行	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けての見直し結果
16	Ⅲ みどりの まちづくり の考え方	27		みどりの将来像 「みどりの基本計画におけるみどりの将来像」 ②、③特に「子どもの生きる力が育つまち」のみどりに重点を置いてほしい。 28ページのめざすまちの姿①～⑥はすばらしいと思います。	【今後の参考とさせていただきます】 本計画に記載している「めざすまちの姿」は、第6次総合計画から引用したものであり、みどりの基本計画は、第6次総合計画のめざすまちの姿のみどりで寄与することを念頭に構成しています。本計画は、実施計画（アクションプラン）として、「（仮称）パークマネジメント計画」や「（仮称）街路樹管理計画」を作成することや、本計画自の中間年である5年後に、学識者等で構成する検証委員会で進捗状況の確認や必要に応じて修正を加えるなど、定期的にフォローアップを行い、計画的に推進を図ります。	
17	Ⅲ みどりの まちづくり の考え方	31		みどりの確保目標 目標年次「総括目標」60ポイント低すぎる。具体的に何を、ポイントを上げようとしているのか。 「公園をよく利用する市民の割合」25%これも低すぎる。何を、ポイントを上げようとしているのか。	【原案のとおりとします】 みどりの確保目標を達成するために、基本方針、基本施策、個別施策を展開しています。具体的には、個別施策を行い目標達成を図ろうとしています。 みどりの整備や市民意識の醸成には時間を要するため、本計画の計画期間内（1年間）に達成する目標値としては適切であると考えます。	
18	Ⅲ みどりの まちづくり の考え方	32	1	(2) 個別目標1～6に関して ①市民・団体・事業者・行政の「共有する」目標とは言い難い。 例：目標3「イベントの数」146回の主催者内訳で行政以外がどの程度で「愛着状況」と考えられたのでしょうか。 ②目標4「公園をよく利用する人」を増やすことより、「あまり利用しない人（72%）」を減らす方が肝要ではないですか。 ③目標1・2・6「市民・団体・事業者」にできることは何？	【原案のとおりとします】 ①目標3の「イベントの数」には、行政が主催するマラソン大会などのイベントのほか、「市民・団体・事業者」が主催する祭りや朝市、防災訓練などを含んだものが大半になります。こうしたイベントの数が増えると、公園を訪れる回数が増え、愛着が増すものと考えています。 ②目標4に関するアンケート調査の回答は、「よく利用する」、「あまり利用しない」の2択です。本計画は、重点施策2に記載しているとおり既存ストックの再編を図ることにより、公園利用を活性化させようという施策を展開しています。こうしたことから、「あまり利用しない人」を減少させるという表現よりも、「公園をよく利用する」と答えた人の割合を指標として設定しました。 ③目標1においては、地域制緑地である、「生産緑地地区」・「環境緑地保全地域」・「緑地協定」の維持、目標2においては、敷地内緑化の実施、目標6においては市民緑地認定制度の活用などがあります。	

No.	項目	ページ	行	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けての見直し結果
19	Ⅲ みどりのまちづくりの考え方	37	1	「みどりのネットワーク」設定の意図がくみ取れません。3エリアと7ブロックを共存させるか、エリア＝形態として位置付けないと、何を狙おうとしているか理解し難い。	【原案のとおりとします】 みどりのネットワーク図は、本市の地形構成やみどり、まちの特性を反映させたもので、基本方針を展開する空間イメージとして示しています。みどりの構成として骨格、拠点、軸、身近なみどりの4つに分類し整理しています。 V地域別のみどりのまちづくりの方針では、地域の実情に合った計画とするため、市内を7つのブロックに分け、それぞれの施策展開のイメージとして、地域別のみどりのネットワーク図を示しています。	
20	Ⅳ みどりのまちづくりを推進する施策	44		コラム欄 11行目 以降、コミュニティひばり環境部会が設置した北雲雀さずきの森さずな会が中心となり、生物多様性に配慮しながら、里山として整備、保全活動を行い、近隣の小中学校の環境学習の支援も行っています。とあるが、里山ではなくまち山ではないか。	【計画に反映します】 ご意見いただいたとおり、北雲雀さずきの森緑地は「まち山」の定義に入るため、修正します。	以降、コミュニティひばり環境部会が設置した北雲雀さずきの森さずな会が中心となり、生物多様性に配慮しながら、 <u>まち山</u> として整備、保全活動を行い、近隣の小中学校の環境学習の支援も行っています。
21	Ⅳ みどりのまちづくりを推進する施策	47		・民有地の緑化について 個人宅の駐車場緑化への支援を加える。夏場など、特にその効果を体感でき、「みどり」への意識が高まる。これが広まれば緑被率は飛躍的に上りヒートアイランド現象の緩和に寄与するのではないか。	【原案のとおりとします】 ご意見いただきました駐車場の緑化に対する支援ですが、県が行っている「県民まちなみ緑化事業」で面積による要件はありますが、すでに助成等が行われています。また、市では、生垣作りに対して助成を行っています。	

No.	項目	ページ	行	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けての見直し結果
22	IV みどりの まちづくり を推進する 施策	49		「緑資源のリサイクルのための剪定枝葉などの堆肥化と、植木ごみのチップ化によるマルチングなどへの再利用促進」は別に項目を立てる。P.52の写真は落ち葉をゴミ袋に入れているが、本来落ち葉は良質な有機肥料である。街路樹の落ち葉も、家庭で刈った枝葉も全て燃えるゴミとしている。これらを資源とするために市民生活に沿ったリサイクルシステムの構築こそが行政に求められていることであり、みどりのまちづくり、環境への意識向上につながる。	【計画に反映します】 「緑資源のリサイクルのための剪定枝葉などの堆肥化と、植木ごみのチップ化によるマルチングなどへの再利用促進」を「緑資源のリサイクル」として項目を立てます。ご意見いただきました、剪定枝葉につきましては、緑のリサイクルセンターで堆肥化しています。落ち葉については、他のごみの混入や運搬コストの面から課題があります。今後もさらなるごみの減量化・資源化を目指して事業を継続してまいります。	「緑資源のリサイクル」として別に項目として立てます。
23	IV みどりの まちづくり を推進する 施策	50		コラム欄 オープンガーデンフェスタは当初、宝塚市らしい取り組みとして好評だったが、近隣の市も開催しており、時代に合った新しい切り口が求められているように思える。事業者の参加のあり方には大いに再考の余地がある。	【今後の参考にさせていただきます】 引き続きオープンガーデンフェスタへの参加庭主数と来場者数の増加を図ってまいります。今後の事業者参加の在り方については、オープンガーデンフェスタを通じて、本市地場産業である花き植木を広くPRできるよう、主催者と共に検討していきます。	
24	IV みどりの まちづくり を推進する 施策	53		2) 主体別の取組内容 <各種団体> ・北雲雀きずきの森緑地を、楽しみながら自然体験ができる場として適切な維持管理活動を推進します。とあるがどのようにイメージすればよいのか。他の箇所の記事は、環境学習・自然学習やバードウォッチング・森林浴となっている。	【原案のとおりとします】 各種団体の役割として、他市町村の事例から、動植物のスタンプラリーを開催し、楽しみながら自然を体験できるなど、様々な発想で「きずきの森緑地」を活用して欲しい、との思いからあえて具体的な事例を記載せず、抽象的な表現にしました。	

No.	項目	ページ	行	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けての見直し結果
25	IV みどりのまちづくりを推進する施策	61	1	<p>重点施策 “4 みどりに関わる人を増やす取組” この計画体系で最重要施策と思います。計画を達成する“人”を何人増やすのか。 1) 現状の課題でとらえている“PR不足”広報活動、印刷物、HPに加えワークショップで現場まで来てやらねばいけない。 2) 主体別の取組内容 を必ず実行してほしい。</p>	<p>【今後の参考とさせていただきます】 1) 本計画では、下位計画として、「(仮称)パークマネジメント計画」及び「(仮称)街路樹管理計画」を策定することとしており、計画の策定から推進に至るまで、ワークショップの開催などにより、より多くの方にみどりに関わってもらよう、努めてまいります。 2) 取組が実施されるよう、計画の周知を行い、推進を図ります。</p>	
26	V 地域ごとのみどりのまちづくりの方針	80	23	<p>市民が身近に農業や自然とふれあうことができる自然学習や環境学習の場として活用します。とあるが現状は福祉農園として、きずな会がさざんか福祉会の利用を支援し、ガールスカウトが学習農園として利用している。面積も広くないので、明記しない方が良いのではないかと。</p>	<p>【計画に反映します】 ご意見いただいたとおり、北雲雀きずきの森緑地における農園は、規模が小さいため、農業に関する記載を削除します。</p>	<p>北雲雀きずきの森は、「北摂里山博物館（地域まるごとミュージアム）構想」に基づき、市民が身近に自然に触れ合うことのできる自然学習や環境学習の場として活用します。</p>

No.	項目	ページ	行	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けての見直し結果
27	VI 計画を推進するための方策	87	1	<p>(1) 計画の推進体制 市民や各種団体、事業者といった地域に関わる様々な主体がそれぞれの特色を活かし、計画実現に向けて一丸となって とあるがどうすればこの意識が根付くのか掘り下げ、提案が欲しい。この項の具体化が基本計画の成否を決定づけると思わします。</p>	<p>【今後の参考とさせていただきます】 みどりのまちづくりについては、各まちづくり協議会や自治会、アドプト団体等の市民ボランティア等と課題などを協議し、計画の実現に向けて進めてまいります。 ご意見のあった意識を根付かせるには、まちづくり協議会などの地域団体と地域のみどりの課題を共有し、その課題解決のために、各種団体や事業者へフィードバックする仕組みが必要であると考えます。 詳細の仕組みについては、下位計画である「(仮称)宝塚市パークマネジメント計画」や「(仮称)街路樹管理計画」を策定することとしており、計画の策定から推進に至るまで、様々な主体とワークショップの開催などにより、意見交換を行いながら、計画実現に向けて取り組んでまいります。 計画の推進体制については、本計画の中間年である5年後に、担当課において数値目標の進捗状況の把握・評価するほか、学識者などで構成する「検証委員会」にて進捗状況を確認し、必要に応じて修正します。 評価結果などについては、ホームページなどで市民の方々へ公表します。</p>	
28	資料編			<p>市民意識調査結果 重要情報満載で、各種団体・構成員へ開示し、自分のブロックと他のブロックを対比したら“解”を求める際の参考にしてはと思います。</p>	<p>【今後の参考にさせていただきます】 市民意識調査を含めた本計画について、改めて市ホームページなどへ周知させていただきます。</p>	